

市政記者各位

令和4年7月25日
福岡市 総務企画局 国際部

国連ハビタット福岡本部設立25周年記念行事を開催します！

国連ハビタット福岡本部の設立から、今年で25周年を迎えることに伴い、25周年を記念するシンポジウムを開催します。

また、シンポジウムの開催に先立ち、国連ハビタットのマイムナ・モハメッド・シャリフ事務局長が高島市長を表敬しますので、ぜひ取材いただきますようお願いします。

【国連ハビタット福岡本部について】

国連ハビタット（国際連合人間居住計画）の地域本部として、イランから太平洋諸島までのアジア太平洋地域42カ国において、開発途上国の居住問題に取り組むとともに、「住民主体のまちづくり」を推進している九州唯一の国連機関です。

福岡市は、1997年の福岡本部設立以来、福岡県及び地元経済界とともに、福岡本部への支援を通じて、アジア太平洋地域の居住環境改善に貢献しています。

〔市長表敬〕

- 1 日時 令和4年7月26日（火） 11時00分～11時15分（10時30分から受付開始）
- 2 場所 市役所9階 特別応接室

〔国連ハビタット福岡本部設立25周年記念シンポジウム〕

- 1 日時 令和4年7月26日（火） 15時00分～17時00分
- 2 場所 西鉄グランドホテル 2階 プレジール（福岡市中央区大名2-6-60）
- 3 内容 別紙1参照（別紙2にシャリフ事務局長の略歴を添付）

【問合せ先】

総務企画局 国際部 アジア太平洋都市サミット担当 松田、稲永
電話:711-4513 Fax:733-5597 メール: apcs@city.fukuoka.lg.jp

国連ハビタット福岡本部 設立25周年記念シンポジウム

国連人間居住計画（ハビタット）福岡本部は、アジア太平洋地域における居住環境や都市問題に取り組み、「住民主体のまちづくり」を推進する、九州唯一の国連機関です。当シンポジウムでは、国連ハビタットの活動報告や企業・大学のパネルディスカッションを通して、これからの国際協力やSDGsとのつながりについて考えます。

○日 時
2022年7月26日（火）
15：00～17：00
※ライブ配信（Zoom）

○プログラム ※日英同時通訳あり
[主催者挨拶]
国連ハビタット事務局長
マイムナー・モハメド・シャリフ

○定 員 100名程度
○参加費 無料

[活動報告]
国連ハビタット福岡本部と海外事務所の取組みを報告します。

[パネルディスカッション]
企業や大学の取組みを紹介し、今後の国際協力やSDGsとのつながりについて考えます。

(パネリスト)
▶ イオン九州株式会社 様
▶ 株式会社大建 様
▶ 九州産業大学 様

(モデレーター)
▶ RKB毎日放送株式会社 様



お申込みは
こちらから↓



○申込方法

右のURLまたはQRコードからお申込みください。
開催前日までに、視聴用URLをお送りします。
※ご記入いただいた個人情報は、ご本人の承諾なく、
当シンポジウムの実施目的以外に使用いたしません。

[https://us02web.zoom.us/
webinar/register/
WN_ZT6HljweQjatnNd_U7zrwg](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ZT6HljweQjatnNd_U7zrwg)

主催：国連ハビタット福岡本部設立25周年記念事業実行委員会
（福岡県、福岡市、国連ハビタット福岡本部協力委員会、国連ハビタット福岡本部、
（公財）福岡県国際交流センター、日本国際連合協会福岡県本部）
後援：国土交通省、外務省、（一社）九州経済連合会
お問い合わせ先：国連ハビタット福岡本部（福岡市中央区天神1-1-1アクロス8階）
電話：092-724-7121 E-mail：habitat.fukuoka@un.org

マイムナ・モハメッド・シャリフ
国連ハビタット事務局長（国連事務次長レベル）



2017年12月22日に国連総会で選出され、国際連合人間居住計画（ハビタット）事務局長（国連事務次長レベル）に任命された。2022年1月より2期目。

国連ハビタット事務局長着任以前はマレーシア・ペナン島市長を務めていた。2011年、女性としては初めてセベラン・プライ市議会議長に任命され、「仕事・生活・投資とレジジャーを考えるうえで、よりきれいで、緑豊か、安全で健全なまちづくり」のビジョンをもって市議会を牽引した。また、ジェンダー平等を志向する参加型予算や計画を主導したことで知られ、ガバナンスプロセスにジェンダー平等の視点を取り入れ、ジェンダー主流化を予算や開発政策・計画に組み込んだ。

1985年ペナン島市のまちづくり計画担当官（タウンプランナー）。2003-2009年11月まで同市計画開発課長としてペナン島市の開発管理や景観開発に直接携わった。また、ペナン島市ジョージタウンの都市再生化事業の立案・実施を主導したことにより、2008年7月にUNESCO世界文化遺産登録されたジョージタウンを維持管理するために設立されたジョージタウン世界文化遺産事務所初代所長に就任した。”Planner of the Year 2014”（マレーシアプランナー協会）やセベラン・プライ市における持続可能な都市計画への功績による”2016 Global Human Settlements Outstanding contribution Award”（第3回国連人間居住会議（ハビタット III））等受賞多数。

1961年8月26日、マレーシアのネグリ・センビラン州出身。英国ウェールズ科学技術大学学士、マレーシア科学大学修士号取得。